

2020年上半期分 羽田空港貨物取扱量

1. 概要

2020年上半期の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

積込量	73,464トン	(前年同期比	39.9%減)
取卸量	94,510トン	(同	34.8%減)
総取扱量	167,974トン	(同	37.1%減)

となり、前年同期比で積込量、取卸量、総取扱量全てにおいて減少となった。

2. 通関官署別動向について

(1) 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関官署別にみると、

羽田地域通関	4,220トン	(前年同期比	33.1%減、シェア	11.2%)
その他地域通関	33,317トン	(同	50.9%減、同	88.8%)

となっており、前年同期比で羽田地域通関分、その他地域通関分ともに減少となった。

(2) 輸入量

羽田空港において輸入された貨物量を輸入通関官署別に見ると、

羽田地域通関	29,452トン	(前年同期比	36.4%減、シェア	49.8%)
その他地域通関	29,690トン	(同	23.3%減、同	50.2%)

となっており、前年同期比で羽田地域通関分、その他地域通関分ともに減少となった。

3. 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量	35,927トン	(前年同期比	25.2%減)
取卸量	35,368トン	(同	41.0%減)

となっており、前年同期比で積込量、取卸量ともに減少となった。

4. 生鮮・ドライ取卸貨物動向 (その他地域通関分を除く)

2020年上半期の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別でみると、

生鮮貨物 4,856トン(前年同期比 44.2%減、シェア16.5%)
 ドライ貨物 24,596トン(同 34.6%減、同 83.5%)
 となっている。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

(単位：トン)

		2020年上半期		2019年上半期	
羽田空港輸入貨物量		29,452	(63.6%)	46,320	(97.7%)
内 訳	生鮮貨物量	4,856	(55.8%) [16.5%]	8,699	(100.7%) [18.8%]
	ドライ貨物量	24,596	(65.4%) [83.5%]	37,621	(97.0%) [81.2%]

注 ()内は前年同期比、[]内は構成比である。

※この資料は再国際化以降についてコメントしています。

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。